



「スーパーバイザー養成講座実施」の教訓と意義

旧スーパービジョン委員会委員長・資格認定委員会委員長 平木 典子



平成21年度の「スーパーバイザー養成講座」は、2月から9月まで8カ月にわたって全12日間、8名の受講者、14名のスタッフで行われました。

参加者は東京から4名、浜松、名古屋、神戸、高松からそれぞれ1名という広範囲にわたり、かなり厳しい、集中的な訓練が行われ、全員が講座の修了生となりました。

講座の内容は、1. スーパービジョン概論、2. 働く人たちのカウンセリングに関する知識とスキルと情報、3. スーパービジョンの倫理、4. スーパービジョン・スキル、5. 自己のカウンセリングとスーパービジョン・モデルの明確化の5領域にわたり、スーパービジョン・スキルに関しては、全体の半分の時間を使ってロールプレイとビデオによるふり返りを含むスキル・トレーニングが行われました。

この訓練に先立ち、養成講座の準備が2年前から開始されており、スーパーバイザー訓練のためのスタッフ養成が行われたことも特記すべきことです。上記14名のスタッフとはこの2年間のスタッフ養成訓練を受けた人々であり、昨年は、ある意味でスタッフ訓練の続きでもあり、仕上げでもあったといえるでしょう。

特定のカウンセリングや心理療法の流派と集団精神療学会によるものを除いて、日本で個人カウンセリングのスーパーバイザー訓練を始めたのは本学会が最初ですが、その裏には大きな課題がありました。第1は、産業カウンセラーのバックグラウンドの多様性です。カウンセ

ラーの訓練プログラムが標準化されておらず、資格も多様であるため、スーパーバイザー志願者の背景にバラツキがあったことで、訓練はかなり複雑なものになりました。この問題は、今後も継続して起こるでしょう。第2の問題は、スーパーバイザー志願者はほとんど、常時スーパーバイザーを持っていないことです。この現実と時間的制約から、実践をしながらの実習訓練は、今後の課題となりました。第3は、日本の過重労働状況とカウンセリング従事者の恵まれない待遇の問題です。講座は主として土・日・祭日に行うことになり、参加者にとっても、スタッフにとっても多くのエネルギーと休日を必要とするものになりました。

それでも、本講座の意義は大きなものです。カウンセリング・スキルのレベルアップは、参加者の悲願に近いものであり、日本の現状はより高度な支援スキルとそのための指導者の養成が急務であることが実感されました。また、養成カリキュラムは、多少の手直しで、今後もほとんどそのまま活用できることが分かりました。

本年度は、養成講座を修了した方たちのスーパーバイザー資格認定のため制度を作成することになり、スーパービジョンのスーパービジョンを含む訓練と認定方法の検討が進められています。資格認定制度については、次号のニュース・レターでお知らせします。

日本産業カウンセリング学会 スーパーバイザー養成講座 募集要項

I. 講座概要

1. 講座概要

- A. スーパービジョン概論
1. スーパービジョンとは
 2. スーパーバイザー・トレーニングの概要
- B. 働く人たちのカウンセリングに関する知識・スキル・情報
1. カウンセリングに関する理論
 2. カウンセリング・プロセスにおけるキーポイント
- C. スーパービジョン・スキル
1. スーパービジョン・スキルトレーニング概論
 2. カウンセリング契約・目標設定のスキル
 3. ケースの概念化・運営・評価
 4. 組織における HRM, HDR, EAP との連携など
 5. カウンセラーの能力開発・ファシリテーション
- D. スーパービジョンの倫理
1. スーパービジョン契約に関する倫理
 2. 現場手続の指導に関する倫理
 3. 発生する倫理問題への対応
 4. スーパーバイザーからみたスーパーバイザーの評価に関する倫理
- E. 自己のカウンセリングとスーパービジョンモデルの明確化
1. 自己のカウンセリング哲学・理論・方法・スタイルの明確化
 2. 自己のスーパービジョン哲学・理論・方法・スタイルの明確化

2. 開講日程（予定）

2010年10月16日(土)・17日(日)、11月20日(土)・21日(日)、12月11日(土)・12日(日)、
2011年1月8日(土)・9日(日)・10日(月)、2月11日(金)・12日(土)・13日(日)、3月19日(土)・20日(日)・21日(月)

※開講時間（予定） 原則9時開始、19時終了

3. 開講条件

最少人数6名、最大人数12名で開始

II. スーパーバイザー養成講座応募資格要件

1. カウンセリングの有資格者（産業カウンセラー・キャリアコンサルタント・認定カウンセラー・臨床心理士 および同等の資格を有する者）で、心理面接、スーパービジョン、ケース検討会出席などを含むカウンセリングに関する実務経験5,000時間以上（そのうち、カウンセリング面接時間は2,500時間以上であること）を有する者
2. 日本産業カウンセリング学会会員暦3年以上の者
3. スーパービジョン経験（スーパーバイザーとして50時間以上、およびスーパーバイザー経験が

あることが望ましい）

III. スーパーバイザー養成講座選考基準

1. 書類審査および論文審査（論文テーマ：応募書類に記載）
2. 選考面接

IV. 募集から開講日までの日程

- ① 5/31(月) 応募書類請求の締切
- ② 7/1(木) 募集
- ③ 7/12(月) 募集締切（当日消印有効。簡易書留で送付されてきた応募書類のみ受理）
- ④ 7/26(月) 書類審査結果の通知、選考面接の通知を発送
- ⑤ 8/21(土) 選考面接
- ⑥ 8/25(水) 選考結果の通知を発送
- ⑦ 9/13(月) 受講申込・振込の締切
- ⑧ 10/16(土) 開講

V. 受講料

30万円

VI. 養成講座開催場所

東京都内（詳細は受講者にお知らせする）

VII. 受講に当たっての留意事項

1. 原則として遅刻・欠席は認めません。（止むを得ない場合はB領域のみ欠席2日まで可）
2. 受講のために宿泊の必要な方はご自身でご負担願います。

VIII. 応募方法

1. 応募書類を学会事務局へ請求ください。
※請求締切：2010年5月31日(月)まで
※請求方法：メールまたはファックス（電話での申し込みは不可）にて氏名・郵便番号・住所・電話番号、メールアドレスを連絡ください。
2. 必要事項を記入した所定の応募書類を日本産業カウンセリング学会事務局へ簡易書留にて郵送ください。
※応募締切：2010年7月12日(月) 当日消印有効

日本産業カウンセリング学会事務局

住所 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28
飯田橋ハイタウン1020

TEL 03-5228-4418

e-mail: info@jaic.jp

第一回スーパーバイザー養成講座を受講して ——受講者の感想——

今回受講の最大目的は、大学院時代から持っていた学びたい欲求の不全感を解消したいことだった。終了時はそれらを超えて余りある充実感・達成感と感謝の念が胸にあふれた。長期間ご準備を重ねられた先生方と受講生が一体になり、創り上げていく雰囲気は実に楽しかったが、期待されるレベルに応えられないと落ち込むこともあった。

今ではSVを頼まれても無用な不安が減り、開き直れるようになっている。

田中 梅野

自分自身を棚卸しする、贅沢で濃厚な時間でした。講義では、幅広い知識の必要性を感じましたが、一番印象に残り、身になったのはSVの実践トレーニングです。第一線の先生方や受講者の方から、多様な専門性の視点から厳しくも丁寧なコメントをいただき、その場で自分と向き合い、多面的な見方を考えていくという学びの入口でした。「変わったよね」といわれることもあり、SVに限らず自分のありようも少し変化したかなと感じています。これからどう活かし伸ばしていくかが課題です。

小松原 智子

スーパービジョンを体系的に学ぶことで、カウンセリングを吟味する視点が深く得られたと思う。講座では、自分のスーパービジョンをビデオで振り返り先生方から指導を受け、緊張もあったが充実した体験をした。今も、ゲートキーパー役割、提出事例のまとめ方からカウンセラーの姿勢が見えることなど、どんな場面で何を指導されたかを思い出す。

SVではまず課題を確認しSASモデルを意識するようにしている。

内山 春美

受講生7人、講師16人の面々、ドキドキと緊張もすごかった。理論と演習、演習は1時間ビデオをとり、それをみながら振り返る。半日以上かけての一对一の個人指導、そこではSVの目的、求めるものは何かをまずは合致しないで進めていたことがよくわかった。バイザーの思い込み。このような振り返りの仕方の学びをもっともっと実施したかった。ケースの概念化はもちろん、「見立て」と「立ち位置」の大切さを実感した。さらに理論に根付いた実践を深めていきたい。

菅野 由喜子

今まで数多くのスーパービジョンを受け、何が本物のスーパービジョンなのか知りたくなり受講に挑戦しました。臨床歴20数年を振り返り、産業臨床の理論・哲学・倫理等の知識に根差す、論述力・コメント力を再確認することができました。特にライブの視覚化により自らの姿を委員の先生のコメント付きで観察することができたのは貴重な体験でした。委員の先生・受講仲間の皆様、しつこく勧めてくださったA様、本当に感謝です。

濱田 多美代

第2回中部地区セミナー レポート

去る2月14日(日)、名城大学名駅サテライトを会場として『第2回中部地区セミナー』が開催され、産業カウンセラー、キャリア・コンサルタント、そして企業等の人事労務担当者等、会員を中心に80名を超える方々が受講されました。

当学会では、産業カウンセリングの研究と実践を深めるため、研究会、研修会やワークショップなどを開催してきましたが、主に東京あるいは大阪での開催だったため、他地域での開催は会員サービスの向上という学会運営上の重要課題の一つでした。

幸い、中部地区では、山本克英理事、杉本和夫さん、長坂廣幸さん、後藤雅司さんを中心とした多くの方々が、中部地区でのセミナー開催のために精力的に取り組まれた結果、平成21年度は二回のセミナーを開催できました。初回は中部支部設立準備会と冠した開催でしたが、今回は支部設立よりも産業カウンセリングの研究と実践を深めるという原点に立ち返った開催となりました。

さて、当日は、山本理事の進行で、「サラリーマンのアイデンティティを考える」と題する桐村学会長による講演と、「カウンセラーの、厳しい雇用環境下の従業員に対するメンタルとキャリアの問題への対応」をテーマとするシンポジウムが行われました。

シンポジウムは、会場を紹介いただいた後藤さんの進行で、丸山悟さん、山村悦子さん、そして、杉本さんが、メンタルとキャリアの視点から、それぞれの職場で取組まれている産業カウンセリングの実践の状況をレポートされました。フロアからもそれぞれのレポートに対して質問や提言が行われ、実践家同士の熱心な意見交換が行われました。最後に、長坂さんが「セミナーを継続開催しよう。15回大会に参加しよう。そして、中部支部を実現しよう。」と力強く挨拶され、閉会となりました。

セミナー開催準備に取り組まれた皆様に学会事務局より心から感謝申し上げますとともに、このような活動を今後とも是非継続していただくようお願いします。(事務局長)

第2回中部地区セミナー参加者アンケート

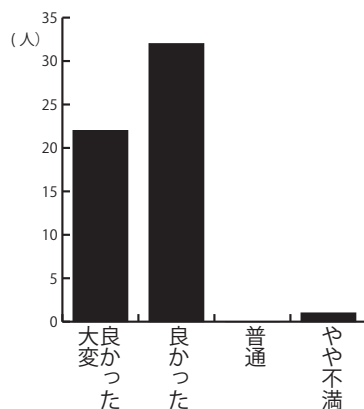
当日、参加者の皆様にセミナーに関するアンケートへの回答をお願いしたところ、55名の方から回答をいただきました。

山本理事を代表とする幹事の方々は、このアンケート結果も参考に、次回のセミナー開催に向けた準備に着手されています。

1. セミナー全体について

*良かったこと

- 中部地区でこのような勉強会ができてありがたい。
- 自分自身のアイデンティティを見直すきっかけになった。
- シンポジウムご3名の経験をふまえての「キャリア カウンセリングの意義や大切なこと」の提言がとても参考になった。
- 準備がきちんとされており、運営のポリシーがはっきりしていた。(3)
- 質問への配分も良かった。
- 前半・後半とも、キーワードとして参考になった。
- 講演もシンポジウムも受講者としても、活動するにしても参考になった。(2)
- 会場の立地がよい。
- 第2部のシンポジウムは現場に則した発表で、とても理解しやすかった。(2)
- 大手企業の取り組みから、現実相談者と向き合っている方の話しが聞けたこと。
- キャリアコンサルタントとしての、キャリア形成の例をきくことができたこと。
- お話が、まさに自分が目指しているものそのもの



だったので、大変勉強になった。

- 相談者のアイデンティティを何うことが多い中、自分自身のアイデンティティの確立の大切さを感じた。

*良くなかったこと

- スクリーンが低いので見づらかった。
- 体験がない部分の話しがあり(シンポジウム)、その点が気になった。
- 具体的な例が欲しかった。
- 会場が狭かったこと。
- 時間が足りなく感じた。どちらか1つずつにテーマをしぼって、質疑応答も含めて企画していただければよりよかったです。

2. 講演について

*良かったこと

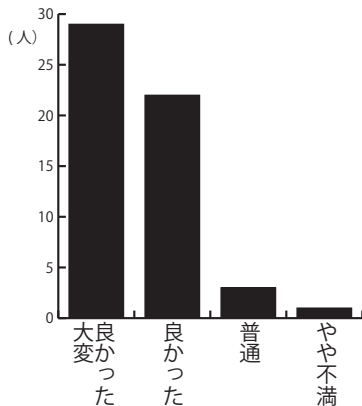
- 大変わかりやすく、自分自身のことと重ねてとても考えさせられた。(3)
- 転換期でのアイデンティティの上手なマネジメントもこれから大切なことだと思った。(2)
- 桐村教授の長年にわたる実業界での経験と豊富な知識が講演内容ににじみ出て、非常に含蓄のある良い講演であった。
- アイデンティティを多方面から検証されていることに興味を持ち、社会が複雑になるほど、個のアイデンティティの確立が必要。(軸を作ること、他人を大切に、情報に左右されずに)
- アイデンティティに対する自分の考え方を整理し確認できた。
- アイデンティティの持ち方、とらえ方を幅広い方向で考えられる内容だった。

- ・今後のアイデンティティの修正のテーマに興味がある。
- ・戦中戦後の日本人のアイデンティティから現在それぞれが心の中、行動でやるべきことまで、温かいハートで解きほぐしていかれ勉強になりました。
- ・全ての言葉にキャリアについてのヒントがあり、今後の私自身のキャリアの構築に大変役立つと感じた。
- ・サラリーマン90%超の時代にマッチしたテーマと思う。
- ・アイデンティティの持ち方、とらえ方を幅広い方向で考えられる内容だった。
- ・キャリアストーリーの大切さが良く理解できた。
- ・後半の話をもっとききたかった。(3)
- ・先生のお話で、自分の中に活力が湧いてきました。
- ・桐村先生に会う機会を作ってくださいましたこと。
- ・ご自身の経験からお話しをいただいたので、とても説得力があった。

- ・仕事を通じ『ショーウインドの中の自己決定』という言葉に答えをもらったような気がする。
- ・アイデンティティをマネジメントすることの意味、またそのお考えをもっと伺いたい。

*良くなかったこと

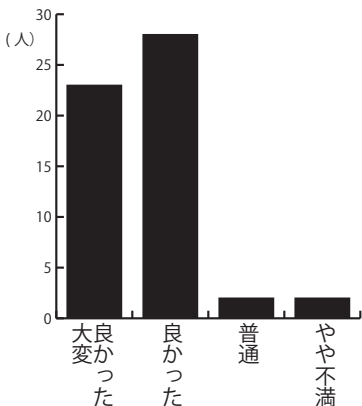
- ・もっと時間がほしかった。(3)
- ・もう少しレジュメに添って話して欲しい。
- ・ポイントとなるキーワードをじっくりと伺えると良かった。話の流れで早くすぎてしまった。



3. シンポジウムについて

*良かったこと

- ・お一人ずつのご講演は短かったのですが、とても上手にまとめてくださってよかった。(4)
- ・アイデンティティをしっかり持った3人がシンポジストとして発表され、元気をいただいた。
- ・杉本さんの自己開示に感動した。
- ・杉本パネラーの自己開示、自己体験をベースにした話は、ユーモアもあり、理解しやすいし
- ・杉本さんの発表は特に勉強になった。
- ・3人ともキャリアコンサルタントとして異なった個性、経験、考えをもち非常に発言内容が参考になった。
- ・シンポジストの働く環境、立場による事例を聞き参考になった。
- ・相談者（窓口）が大事だと感じた。
- ・お三方の話がそれぞれの経験に基づいて具体的であり、キャリアコンサルタントとしての今後の自分の方向性がより強く定まりよかった。(7)
- ・「キャリアとメンタルの両面の理解と支援が大切」ということが、実践者の声として提言され、とても役立った。
- ・丸山氏、杉本氏のお話は大変勉強になった。
- ・時間が短かったのですが、様々な支援活動、経験を伺えておもしろかった。
- ・杉本パネラーの自己開示、自己体験をベースにした話は、ユーモアもあり、理解しやすいし参考になった。
- ・アイデンティティをしっかり持った3人がシンポジストとして発表され、元気をいただいた。
- ・フロアの方のご質問も的確で興味深く、考えさせられた。
- ・最後のリファーマーに対する質問がよかった。



*良くなかったこと（改善してほしいこと）

- ・参加者からの質問をもっと受け付けてよかったのではないかと。
- ・ポインターの使い方が乱暴で目がちらついて困った。
- ・ピンマイクのハウリングが耳に辛かった。
- ・それぞれの方のお話はとても参考になったが、リファーマーという話が山村さんから出たように、リファーマー先の精神科医の方のお話をシンポジストとして伺いたかった。
- ・もう少し時間があってもよかった。
- ・もう少しメンタルに詳しい方がシンポジストにいてくださると、より勉強になったと思う。

4・今後、講演会やシンポジウムで取り上げて欲しいテーマ

- ・中高年齢者の再就職、働きがい、生きがいに関するシンポジウム
- ・木村先生の講演
- ・メンタル面で問題のある方の対応の仕方、リファーマーのタイミング等具体的に
- ・大学生の方々の意識、抱えてみえる課題
- ・有効求人倍率の低下とキャリアカウンセラーの限界など
- ・本部講師の講演会
- ・中小企業のキャリア支援
- ・相談事例の詳細（休職者、在職者）
- ・参加者のリレーション
- ・どの様に再就職支援でモチベーションをあげていくのか
- ・事例を使って、キャリアカウンセラーの対応の手法
- ・キャリアカウンセラーの活動の場
- ・キャリアカウンセラーの活用促進、周知
- ・キャリアカウンセラーの有効性、重要性
- ・産業医、主治医、人事、上司、カウンセラーとの連携
- ・ストレスへの具体的な支援法を教えて欲しい（特に失敗例を話していただくと面白いです）
- ・キャリアとは「つながり」であると言われる。「つながり」をテーマに取り上げて欲しい
- ・実質相談者のデータを見たい（年齢層、就業中か失業中、相談事由など）漠然と増えている事例があるのではなく、数値が知りたい。それによってキャリアコンサルとして急務として身につけるべきスキルが見えてくると思う
- ・メンタル不調者（休職者を含め）に対してのキャリア支援
- ・企業内相談室（外部資源になる）の運営の成功例
- ・キャリアに傾きすぎない内容を希望
- ・メンタルヘルスについて可能であれば、リファーマーするものとの違い（タイミング）について事例など聞いてみたい
- ・生活困難者等への就職支援についての動向
- ・スーパーバイザーの探し方
- ・非正規雇用者、フリーターに対するキャリア支援と現状
- ・事業者から医療機関に対するリファーマーとその後の連携
- ・「過重労働、交替勤務（夜勤）」従事者に対する問題
- ・『職場の活性化』『今の職場を元気にするために何が出来るか』と言うようなテーマ

5. その他

- ・もう少し広い会場が望ましい
- ・広い視点、多様な面から実践例も交えて学び、振り返ることができ、良い会だった
- ・東京でなく、名古屋での開催はありがたい（北陸から日帰り可能）名古屋も良いが、たまには地方開催も！
- ・電車の時間を考慮した終了時間
- ・会員、非会員の参加率はどうなっているのか？もし、非会員が多ければ、もう少し学会（協会の関連を含めて）の概要を事務局で説明した方が、将来 支部をコンファームするためにはよいのでは！
- ・1日ではなく午後から半日だったのは、集中できてよかった
- ・場所も名駅近くで、参加者にとっても便利だったと思う
- ・とても心配りが行き届いており、気持ちよく受講できた
- ・会場が狭い。2人がけにして欲しかった
- ・会員が無料で参加できる勉強会は大変ありがたい。これからも多くの勉強会をお願いします
- ・学会やセミナー等に参加すると、その時はとても勉強になり、心と頭が洗われるのですが、家（会社）に戻ると具体的に行動に移せない。一步を踏み出すには？ 理論でなく実践・実行

第 85 回常任理事会 議事録

日時 平成 21 年 11 月 27 日（金）18：00
～ 20：00

場所 法政大学市ヶ谷キャンパス 80 年館 7
階会議室 2（丸）

出席者 桐村晋次、楡木満生、上脇貴、川上範夫、
今野能志、堤貞夫、廣川進、古山善一、
三川俊樹、杉忠重、渡邊祐子

欠席者 宮城まり子、奥津眞里、平木典子、森
田一寿

1. 審議事項

(1) 入会希望者・退会届について

入会希望者 23 人のうち全員の入会が承認された。また、8 人の退会届を受理したことが報告された。なお、資料に基づき審議を行った結果、申込書に職務内容の記載のない入会希望者は事務局にて確認することとなった。

(2) スーパービジョン委員会について

スーパービジョン委員会から下記の提案があり、承認された。

- スーパービジョン委員会を解散し、新たにスーパーバイザー認定委員会（委員長 平木典子先生）とスーパーバイザー養成委員会（委員長 今野能志）を設置する。
- 今後のスーパーバイザー養成講座はスーパーバイザー養成委員会が担当する。
- 養成講座修了者の資格認定はスーパーバイザー認定委員会で検討する。基本方針は、スーパーバイザーの育成に重点をおき、受講修了者に自己のスーパービジョンの記録に対するスーパービジョン（マスタースーパーバイザーは平木典子先生）を受けることを前提とする。
- 第 2 回養成講座は 2010 年秋の開講を予定。

(3) その他

とくになし。

2. 報告事項

(1) 委員会報告

• 社会活動委員会

今年度第 2 回会合（11 月 19 日開催）の報告が行われた。

• 研修委員会

12 月 12 日開催の研修会（「キャリア開発と MBTI」）の報告が行われた。

• 地域活性化委員会

中部地区での支部設立に関する動向が報告され、学会としてレベルを保持することを前提として、運営方法等の地区活動は地区の意向を尊重したサポートを行っていくことが報告された。

• 広報委員会

会報は、1 月・4 月・7 月・10 月の年 4 回、いずれの月も 15 日発行を目安とした制作を行っていくこと、および、内容の充実を図っていくことが報告された。

• 近畿支部

15 回大会について報告された。

• 研究委員会

今年度第 2 回シンポジウム（11 月 7 日（土）開催）の報告が行われた。併せて、第 3 回シンポジウムの H22 年 3 月 20 日（土）開催予定が報告された。

(2) その他

①事務局より下記事項が報告された。

• 産業カウンセリング第 40 回全国研究大会東京大会への協賛名義使用承諾の件

• 「アンケートに対する対象者から倫理との関係について指摘があった」との情報提供の件

• 臨床心理職国家資格推進連絡協議会によるカリキュラム案策定の件

②第 86 回常任理事会開催予定は、H21 年 1 月 29 日（金）18 時 30 分～

第 86 回常任理事会 議事録

日時 平成 22 年 1 月 29 日 (金) 18:00 ~ 19:30

場所 法政大学市ヶ谷キャンパス 80 年館 7 階会議室 2 (丸)

出席者 桐村晋次、楡木満生、宮城まり子、奥津真里、上脇貴、川上範夫、今野能志、堤貞夫、平木典子、廣川進、古山善一、三川俊樹、杉忠重、渡邊祐子

欠席者 森田一寿

• 研修委員会
近畿支部と研修委員会の協同による研修会(2月27日)の開催内容案が報告された。

• 地域活性化委員会
中部地区等での活動内容が報告された。

• 広報委員会
快適職場のソフト面の充実を主テーマとするメルマガの発行を継続していく。また、ニュースレターについても各号ごとにテーマを設定し、内容の充実を図っていくことが報告された。

• 近畿支部
15 回大会の運営方法が報告された。

• 研究委員会
今年度第 3 回シンポジウム(3月30日)の開催内容案と、「組織と係るカウンセラーの役割とそのトレーニング」等の実践的研究に正面から取り組んでいく方向性で活動しているとの報告が行われた。

• スーパーバイザー認定委員会、スーパーバイザー養成委員会

H21 年度のスーパーバイザー養成講座修了者も含めて、筆記試験や面接試験ではなく、トレーニングを通じてスーパーバイザーとしての実力を見届ける方法でスーパーバイザーの認定を行うことを検討中との報告が行われた。

(2) その他

①事務局より下記事項が報告された。

- 会費未納会員への督促による会費納入状況
- 諸学会連合会議(12月23日)議事状況
- 法人設立に関する取り組み状況

②第 86 回常任理事会開催予定は、H22 年 3 月 26 日(金) 18 時 30 分～

1. 審議事項

(1) 入会希望者・退会届について

入会希望者 13 人全員の入会が承認された。また、18 人の個人会員と賛助会員(有)マインドセットプレイスの退会届を受理したことが報告された。なお、資料に基づき審議を行ったが、申込書に職務内容の記載のない入会希望者は事務局にて確認することとなった。

(2) 支部設立および支部役員専任の考え方について

• 地域活性化委員長より「支部設立に向けての当面する問題点」の報告がなされた後、事務局長から「日本産業カウンセリング学会支部設立規程(案)」についての提案があった。

• 「日本産業カウンセリング学会支部設立規程(案)」に対して、「同規程は学会のあり方に係るものなので慎重に検討すべき」「支部活動は対象地域の状況に応じた独自の活動もできるような規程とすることが望ましい」との意見が出された。

(3) その他

とくになし。

2. 報告事項

(1) 委員会報告

• 社会活動委員会

今年度第 3 回会合(2月18日)の開催内容案と、H22 年度活動の方向性が報告された。

*****委員会だより*****

スーパーバイザー養成委員会

委員長 今野能志

1. 講義の日程および講義の担当講師候補を決定
2. 養成講座の募集について以下の点を確認
 - 1) 今後の予定
講座の説明会を、5月29日(土)に東京と大阪にて行なう。
東京会場：持田製薬ルークホール
大阪会場：新大阪丸ビル
3. 養成講座修了者の説明会参加
平成21年度養成講座受講者とするに説明会への同席を依頼する。
4. 募集内容については2009年と同じとする。

(詳細は2ページ参照)

参加費：30万円
募集定員：最少6名、最大12名
受講資格：昨年と同じ
書類の受付：7月1日(木)～12日(月)
当日消印有効
面接日：8月21日(土)(22日を予備日とする)

以上を3月の常任理事会に提案、承認後に4月の会報およびHPで広報。
次回委員会は4月29日のメンター・トレーニング終了後。

研究委員会

委員長 廣川進

◎日本産業カウンセリング学会 研究委員会主催 第3回シンポジウムご報告

不況、リストラ、雇用不安などキャリアとメンタルに関する職場環境は深刻化を増しています。今回は企業の相談室でカウンセラーとして実際に社員の相談にのっているお二人をゲストにお迎えして、組織の中で相談室を立ち上げる時のポイント、データの取り方、復職支援への関わり方、個々の事例に対応する中でみてきたこと、それを組織にどこまでどのように共有していく働きかけを行うのかなどについてご発表いただきました。

■テーマ 演題企業の相談室からみえること
—キャリアとメンタル、個人と組織からみた最近の傾向と課題—

■開催日時・会場

平成22年3月20日(土) 13:30～17:00
大正大学

■パネリスト：

伊藤美季 古河電気工業株式会社
シニア産業カウンセラー

堀内泰利 日本電気株式会社人事部
シニアキャリアアドバイザー

◎研究委員会 22年度活動計画

●活動方針

- ・現場に役立つ実践的研究を模索し試行していく。
- ・年間の研究テーマを設定して通年で深めていく。
- ・年間シンポジウムの日時とテーマを定めて、会員向け告知をまとめて早期に行い、参加者を増やす。
- ・実践研究モデル(量的・質的研究、事例研究などのモデル研究の提示や研修会など会員の研究支援に着手する。

●シンポジウム(テーマは予定、日時、演者の詳細は未定で変更の可能性があります)

年間テーマ「多様化する〈うつ〉とどう関わるか」

①6月(東京 大正大学)

討論 新しい〈うつ〉について語る
精神科医、カウンセラー、(人事)

②9月学会シンポ(大阪 追手門大学)

討論 新しい〈うつ〉について語る

精神科医、カウンセラー、キャリアアドバイザー

* 6月のシンポとテーマは同じですが関西方面の関係者を演者にする。

③ 9月学会中に研究支援的な自主シンポができないだろうか。

現場の実践を研究、論文につなぐヒント手引
量的と質的研究のヒント 事例研究、KJ法、

グラウンデッドセオリー

④ 11月（東京 大正大学）

事例研究会 「新しいうつのケースについて」
有効なアプローチを探る

2ケースに3時間くらいかけてじっくり検討する。

⑤ 3月（名古屋）

事例研究会 「新しいうつのケースについて」
復職に際しての環境調整について検討する。

地域活性化委員会委員会

委員長 川上 範夫

地域活性化委員会にかかわる活動について

1. 平成22年2月14日、名古屋名城大学名駅前サテライトキャンパスにおいて「第3回中部地区セミナー」が開催されました。桐村晋次学会会長の講演、中部地区のメンバーによるシンポジウムが行われました。こうした学習会の成果を基に「中部地区会」が結成されていくであろうという見通しです。

2. 東北地方、中国地方、四国地方、九州地方、

その他でも学会員、および当地関係者の発意による学習会、研修会が開催されていて、その成果をバックにして地区会が企画されていけば喜ばしいと考えています。

3. こうした動きを支援するため、地域での学習会等の開催のための目安、ならびに地区会の構成に向かうための指針（申し合わせとか規約の形で）を提示する予定です。

社会活動委員会

委員長 堤 貞夫

1. 第3回会合を2月18日（木）法政大学会議室で実施。

今回は、委員会企業メンバーの中から以下の語両氏の発表と意見交換でした。

・古河電工 伊藤 美季氏「相談内容からみる個人と組織の問題点」

・住友商事 氏橋 隆幸氏「社員相談室から見たメンタル問題の課題」

非常に豊富な内容を準備され、広がり大きい内容で多くの議論がなされました。

伊藤氏：「新型うつ」の対策として、キャリア・カウンセリングの技法を用いて、興味・関心、能力、組織期待を重ね合わせる事が可能にならないか。

氏橋氏：今企業に求められるのは、①企業トップの明確な支援姿勢②人事関係者の能力向上③相談室のMISSION、

VISION、POLICY 堅持④各種復職支援は、それぞれ傾聴に値すると思われれます。

伊藤さんは、3月20日、研究委員会シンポジウムにも出場されました。

2. 次回予定

第4回予定 5月18日 午後6時半 法政大学 80年館予定

・富士ゼロックス教育総研 コンサルタント
大脇 正紀氏

・JFEスチール 安全衛生部担当部長
高橋 信雄氏

お二人とも当委員会の企業メンバーです。人材コンサルタント、学会の有識者として、広い知識、見識をもたれる方なので、この会の議論の発展と収束に向けた討議、検討が進むよう期待します。

近畿支部では、2月27日（土）に追手門学院「大阪城スクエア」を会場として、研修委員会との協働による研修会を開催しました。第1部は今野能志先生（行動科学研究所）による「キャリア・カウンセリングと産業カウンセリング」、第2部は平木典子先生（東京福祉大学大学院）による「カウンセリング・スーパービジョン」で80名を超える参加者があり、5時間にわたる研修の後は、講師の先生を囲んでの和やかな懇親会で締めくくりました。

また、日本産業カウンセリング学会第15回大会が、2010年9月18日（土）～20日（月・祝）に、追手門学院大学（大阪・茨木市）および追手門学院「大阪城スクエア」等を会場に開催されます。近畿支部がその準備と運営を担当させていただきます。18日（土）～19日（日）には、記念講演・個人研究発表・シンポジウム、総会・懇親会などを、20日（月・祝）には研修会を開催いたします。皆様のお越しを心からお待ちいたしております。

新入会・退会状況

平成21年11月27日

入会者

宮田ちぐさ	山田 尚	長島 裕美
石田 陽彦	豊田 直子	石村友二郎
奥島 祥子	糟谷 寛子	谷口 雅恵
嶋作三枝子	小坂橋孝雄	川合 紀子
石川千恵美	入川 常美	片岡 咲子
平田 綾子	石田 利光	福本 由美
宮田 典子	廣田 英茂	浦井 啓子
水留 博	松本 圭	

退会者

金内 波子	岩間 博史	町田 仁
白鳥さつき	野沢 恵子	上田 祐子
大日方広一	二宮 一美	

平成22年1月27日

入会者

石井 治恵	堤 章	廣畑 明美
原島 恵子	亀島 哲	松崎 勇
堀江 知江	永倉 知子	鶴山 誠
塙 清秀	蓑輪 紀子	
神谷恵利子	川手 誠	

退会者

畑沢 延佳	島根 康夫	森川 覚
嶋田健一郎	大友 則子	都 亜紀
塚 ゆき子	前田 真紀	横尾 令子
富野彌太郎	大原 良夫	川村 朋子
青池 哲雄	山本 典子	吉岡 安子
厚海 啓子	坂寄 和弘	福田 美奈子

平成22年3月27日

入会者

伊藤真知子	浜田 賢次	堂本 恵
木下 芳美	長谷川得江	大田 良二
富田 朋子	竹田 淑子	奥平 基雄
岡崎 常泰	森 由香里	鍋野あかね
城市 賢治	山村 悦子	鈴木千穂子
内藤もと子	小泉 洋二	清水 勝
伊澤 徹	番野 哲夫	渡里 光男
千葉 紀子	児島 義江	重松 亮
西島 綾香	高屋敷順子	船床五十雄
川中 隆	橋本 俊作	水田 隆憲
塚本 智裕	福島 崇人	松村 千賀
河野 連二	安永勢津子	

退会者

今川 聡子	青木 恵之祐	橋本 博
松山 依子	岡部 佳夕	野中 由彦
加藤 満	大平みや子	黒木 賢一
野中 由彦	岸本 郁子	
清水 崇	北村 岬	

平成22年1月27日

退会者

マインドセットプレイス（有）

9月25日現在

会員数 1711名
賛助会員 16

